

常任委員会の行政視察を実施しました！

各委員の視察報告書については、市議会ホームページに掲載しております。

◎委員 長
○副委員長

総務企画常任委員会

【平成24年10月24日・25日】

○長野県上田市

日本たばこ産業(株)上田工場跡地の利活用について

この工場跡地は、面積約19haと非常に広大な土地で、中心市街地や市全体の発展に寄与する可能性を持った土地である。当該跡地の活用については、市がすべて取得しての市主導による利活用は困難なため、所有主体を民間とし、協働での開発という特性を持っている。本市競馬場跡地活用の参考となるものであった。

○長野県長野市

議会基本条例の概要とその検証及び議会活性化検討委員会の取り組み状況について

長野市は、平成21年に制定した議会基本条例を検証し、議会のさらなる活性化などを目指して議会活性化検討委員会を設置している。本市においても、今後の議会基本条例制定に向けた作業を行う上で参考となるものであった。



▲長野市役所会議室にて
奥左から 平塚、◎塩田、○西田、常見、中島
各委員

民生環境常任委員会

【平成24年10月24日・25日】

○宮城県大崎市

バイオマスタウン構想について

市の持つ自然資源を利活用することにより、物やエネルギーへの転換技術を検討し、化石燃料の代替促進など、ライフスタイルの転換を目指したソフト事業である。身近なものから再生エネルギーを作り利用することで、市民の意識啓発や、身近な自然資源の再利用を推進しているところに、この構想の壮大さを感じた。

○宮城県仙台市

子育てふれあいプラザ「のびすく泉中央」について

赤ちゃんの託児所、幼児とお母さんの遊び場、お母さん同士の交流や情報交換の場、中高生が放課後の「居場所」として集える場所としての施設である。中高生の居場所としての施設を確保している自治体は少ない。本市でも勉強だけでなく、様々な活動のために、無料で自由に活用できる施設が必要であると考ええる。



▲仙台市泉区「のびすく泉中央」前にて
左から 金子、◎小林(克)、河内、横山、
○大島、渡辺 各委員

教育経済常任委員会

【平成24年10月15日・16日】

○福島県郡山市

デジタル教科書などのICTを活用した授業について

郡山市では、平成16年度から市内全小中学校の全学年で、デジタル教科書を活用した授業を行っている。視察では、デジタル教科書を使用した小学校1年生の国語授業を見学した。導入には、費用面や教師のICT活用能力の充実等の課題もあるが、児童が集中して授業を受ける様子が、デジタル教科書の有効性を実感した。

○福島県須賀川市

須賀川市工業製品認定制度について

須賀川市では、市内企業が製造する工業製品を市が認定し公表する制度を創設している。認定された製品の情報発信や販路開拓の側面支援、「須賀川市工業製品認定カタログ」によるPR等を行っている。本市においても農産物のブランド化の取り組みがあることから、当市の事例は大変参考になるものであった。



▲郡山市立芳山小学校1年生の授業風景
小林(貴)、黒川、◎狹原、富永、尾関、
○栗原 各委員

建設防災常任委員会

【平成24年10月30日・31日】

○静岡県沼津市

市街地再開発ビル「イーラde」の市施行整備と民間事業による運営について

沼津市では、沼津駅周辺の大手町地区第一種市街地再開発事業により、駅前広場や都市計画道路などの公共施設整備と、中心地のにぎわいや活気に満ちたまちづくりを行っている。本市のまちづくりにおいても大変参考になるものであった。

○静岡県藤枝市

中心市街地活性化事業について

藤枝市は、平成20年3月に認定された中心市街地活性化基本計画に基づき、超高齢社会に対し、都市機能の集積した持続的な都市を目指している。その計画には、低未利用市有地を有効活用するため民間活力を導入し、そのノウハウ、企画力及び資金力を最大限活用し、高度な土地利用を図っている。本市の中心市街地活性化を考える上で大変参考になった。



▲藤枝市立図書館にて
左から ○中山、藤生、◎柳、吉田、杉田、
小林(雅) 各委員

訂正とおわび

平成24年11月1日発行第322号・5ページ、吉田晴信議員の質問に対する教育次長の答弁中5行目、「市民会館の今後のあり方検討会」は「市民会館の今後のあり方研究会」の誤りでした。訂正しておわびいたします。